

## 2013年オーストラリア産マカデミア市況



豪州産マカデミアナッツの収穫は、例年3月上旬より収穫が始まり、実の自然落下を待って徐々に収穫していくため、収穫期間が非常に長く、9月頃まで続きます。しかしながら、2013年産に関しては1月末に北東部海岸で発生した台風が東海岸付近に位置する多数のマカデミア農園に被害を与え、また2月上旬より産地の広範囲で雨が降り続き、土壌が非常に湿った状態であることから、現在広域に渡るマカデミア農園で収穫を開始出来ず、例年より収穫が2週間から3週間ほど遅れているとの報告を受けています。

こうした状況の中、3月上旬にオーストラリアマカデミア協会より2013年産オーストラリアマカデミアナッツの第一次予想収穫量が正式に発表されました。今年の収穫量は当初、昨年より増産になると予想されており、1月上旬時点では4万3千トン程度の収穫量になるとの見方もありました。しかし上述の通り、1月末に発生した台風が産地を通過した結果、オーストラリアマカデミア農園全体の10%程度に被害が及んだものと見られており、2月下旬時点での予想収穫量は昨年並みの3万9千トン程度と見込まれています。

また、現地相場に関しましては繰り越し在庫が多少あることから、昨年同時期ほどのタイト感はなく、オープニング価格は一般的なハーフサイズで、昨年と比べて約5%程度下落しています。しかしながら、円は豪州ドルに対して、昨年同時期で約20%も円安となっている為、新物が日本へ入荷する7月頃までに為替レートの大きな変動がなければ、新物の輸入価格は大幅に上昇するものと思われます。

現在もなお、クィーンズランド州にある一部の農園とニューサウスウェールズ州にある多くの農園では雨が降り続いており、収穫を開始出来ていません。今後も更に産地で雨が降り続けば、収穫の遅れのみならず、未熟果や熟して落下した実が発芽してしまう等の不良果が増加し、上記のマカデミア協会が発表した収穫量より更に減る可能性もあります。また、収穫後の生産においても良品の減少や日本向けのプレミアムグレードの減少も予想され、今後の状況次第では現地価格が上昇する事も考えられます。このため、引き続き今後の豪州東海岸一帯の天候に注視する必要があります。